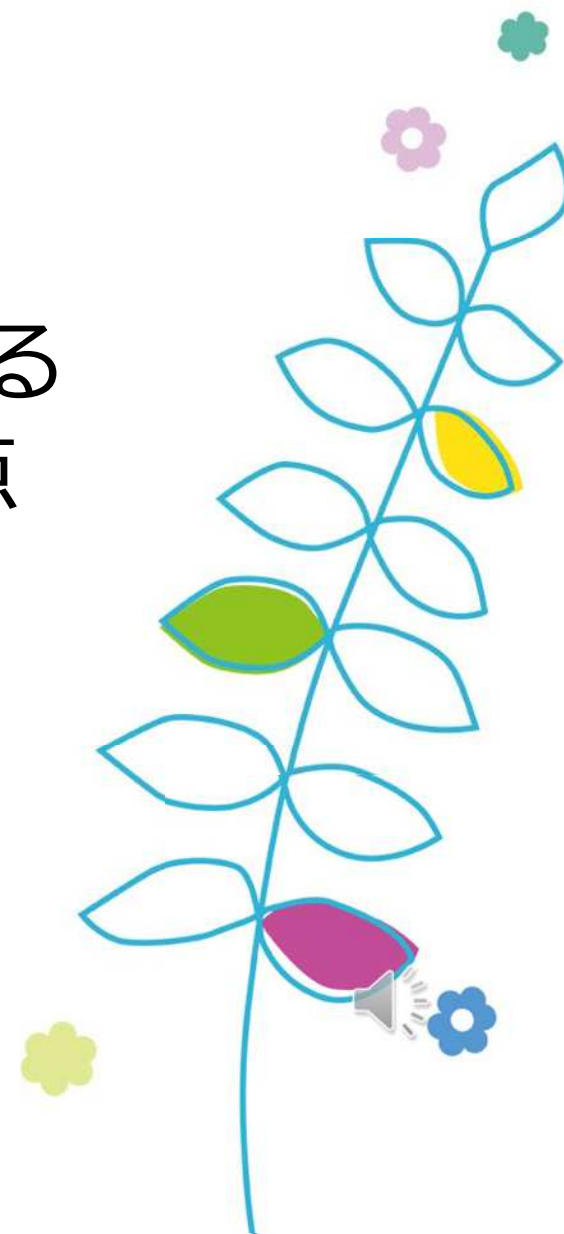


# ライフステージにおける 相談支援に必要な視点

埼玉県相談支援専門員協会

丹羽 彩文





## 獲得目標

- 各ライフステージにおける相談支援に必要な視点を理解する。
- 事例を通じて、医療的ケア児等コーディネーターとして関わりのポイントを理解する。
- ライフステージにおける障害児支援計画及びサービス等利用計画作成のポイントを学ぶ。





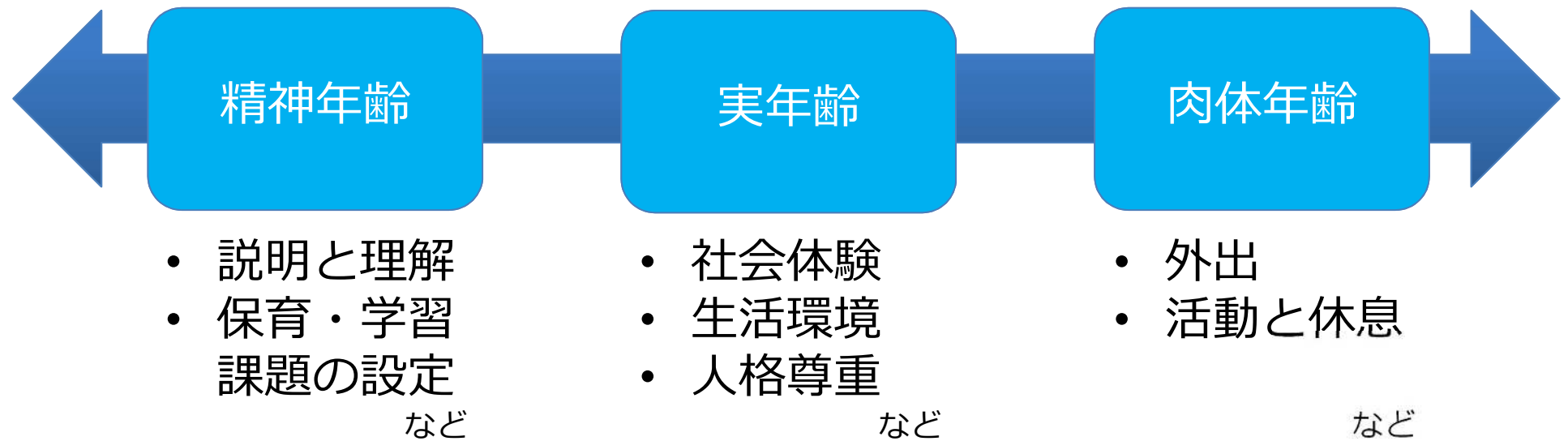
# エリクソンの発達段階モデル

年齢	時期	要素	心理的課題
0-2歳	乳児期	希望	基本的信頼VS不信
2-4歳	幼児前期	意思	自律性vs恥、疑惑
4-5歳	幼児後期	目的	積極性vs罪悪感
5-12歳	児童期	有能感	勤勉性vs劣等感
13-19歳	青年期	忠誠心	同一性vs同一性の拡散
20-39歳	初期成年	愛	親密vs孤独
40-64歳	成年期	世話	生殖vs自己吸収
65歳-	成熟期	賢さ	自己統合vs絶望





# 障害のある人の3つの年齢





# ①在宅移行期

- 1) 本人・保護者との信頼関係の構築
- 2) 多機関に渡る支援者と顔の見える関係構築  
⇒支援チーム作り
- 3) 在宅への安心感
- 4) 状況把握（モニタリングの重要性）





## ②幼児期

- 1) 次子出産・育児問題関連
- 2) 母の就労・社会参加関連
- 3) 療育機関、地域の幼稚園・保育園利用開始
- 4) 就学に向けて（学校選択、通学籍or訪問籍）





## ③学齢期から成人期へ

- 1) 生活時間の大きなウェイトを占める学校（特別支援学校等）や放課後等デイサービスなどとの連携
- 2) 学校問題  
通学＜保護者付添＞・訪問教育・通学手段・副籍等
- 3) きょうだい支援
- 4) 5年後、10年後先の姿を思い描き（疾患、障害特性から予後等を踏まえ）、そこに向けてのイメージ作り、必要な支援  
中長期的なマネージメント





## ④成人期

- 1) 生活介護事業所等との連携
- 2) サービス利用への抵抗感がある本人及び保護者へのアプローチ
- 3) 加齢による変化に伴うサービス利用変更や新規サービス利用
- 4) 介護者（家族）の高齢化
- 5) 成年後見制度
- 6) 親亡き後







# 全ライフステージに共通して必要な視点

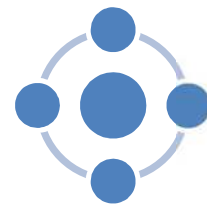
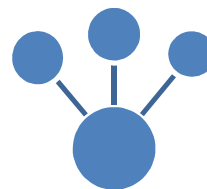
- 1) いかに本人および家族に寄り添っていけるか。
- 2) 本人中心の支援計画（利用者および家族のエンパワメント、アドボカシー）

## 一人一人の支援会議を通じて、 地域で暮らす重症心身障害児者に対して、 一人一人の支援チームを構築していく

家族が頑張って支援機関とつながってきた  
「扇形の支援形態」



相談支援専門員が調整役となり、  
支援機関が本人を中心に継続的、  
一体的に支えて行く  
「輪型の支援形態」





# ライフステージにおける 相談支援

- 1人1人のニーズを
- 関係機関の連携に  
適切な支援を効果  
実施

卒後の活動場所  
自立に向けた支援

小児科から地域医療へ



保健  
センター

医療

保護者

NICUからの  
在宅移行支援

就園・就学の支援

小学校

福祉

学齢期における介助支援

高等学校

就学中

大学

大学

卒業後

福祉

- 地域課題の把握
- 社会資源の創設
- 共生社会の実現

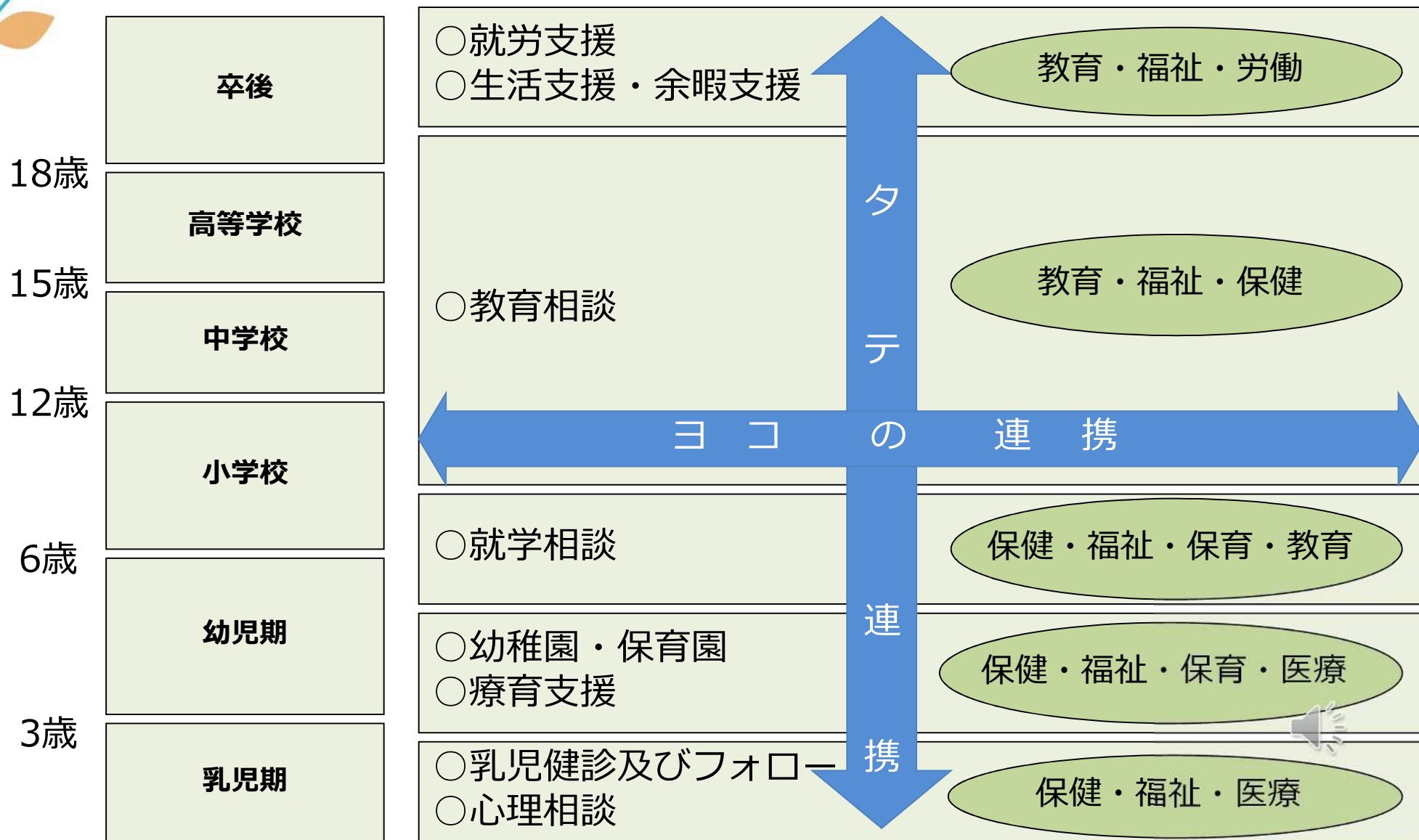




下-米は密森由・思苗壽の7 (音由行講) 策実

圖學田老老職人匠一也・圖學田老老職人匠一也



# ライフステージを見通した一貫した「縦横」の「継続的・総合的なつなぎ支援」





～医療機関からの在宅移行支援～  
事例を通して…



西部・比企地域支援センター  
秋山 操



## りー君の紹介

りーくん（仮名）当時1歳5ヶ月

- 双子の弟（体重697g）として生まれる
- 診断：気管・気管支軟化症
- 手帳：生後半年で身体障害者手帳（1種1級）
- 医療状況  
気管切開・吸引・経鼻経管栄養・酸素・人工呼吸器
- 家族状況：両親（母第3子妊娠中）と双子の兄（保育園）
- 母祖父母同居しており、育児に協力的





## 相談支援が関わるきっかけ

- 行政から相談支援事業所へ

「医療機関から退院を予定しているお子さんがいる。  
在宅生活に向けて支援をしてもらえないか」





## インタビュー

- お母さんが来所

現在のご本人のことの聞き取りやこれからの退院に向けた段取りのこと、お母さんがが気になっていること・思いなどの聞き取りを行う。

- お母さんの気になること

退院の準備って何？

退院した後の生活は？お兄ちゃんの保育園の送迎どうする？

自宅で何かあったらどうしよう・・・





## 退院までの具体的な支援

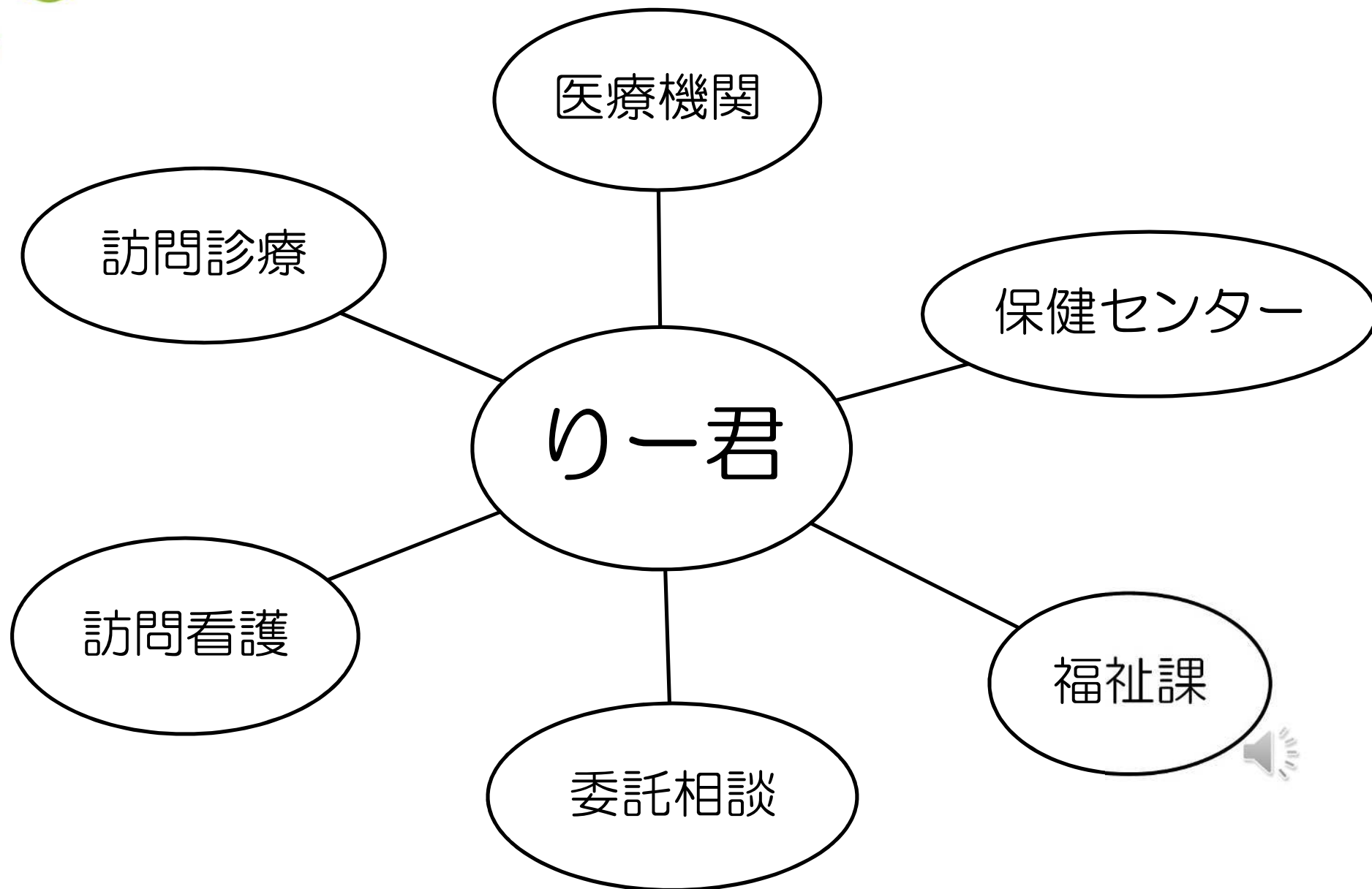
- りー君に会うために病院と連絡
- GCUにて面会
  - このときに退院支援看護師さんと初顔合わせ
- 病院の退院前カンファレンスに出席
- 家での医療機器の準備や設置場所、過ごし方の検討
- 一日の流れ、一週間の流れを確認し、訪問看護や訪問リハビリの調整
- 地域での担当者会議の実施
- 退院準備をしている間に一度りー君が体調を崩してしまい、いったん中断。







# チームりー君の立ち上げ





## りー君がお兄ちゃんになることがわかって…

- お母さんの出産時の対応について一緒に考える
- もともとご家族の休憩のために紹介しようと思っていた短期入所を活用
- そのため事業所の見学調整と見学同行を実施
- 医療的ケア児等コーディネーター（委託相談）の立場から計画相談への切り替え
- サービス等利用計画の作成と退院前に担当者会議の実施





## 退院前後の具体的な支援

- 保健師とのご自宅訪問  
生活の中で支援が必要そうになる時間帯を把握
- 退院前に地域での担当者会議  
宅生活を迎えるにあたりサービスの確認  
退院スケジュールの最終確認
- 退院後にご自宅訪問  
退院後のご様子の把握





## 退院直前の担当者会議

- 参加者

お母さん・保健師・福祉課・訪問看護・訪問リハ・計画相談

- 話し合いの内容

お母さんの思いの共有

サービス等利用計画の確認

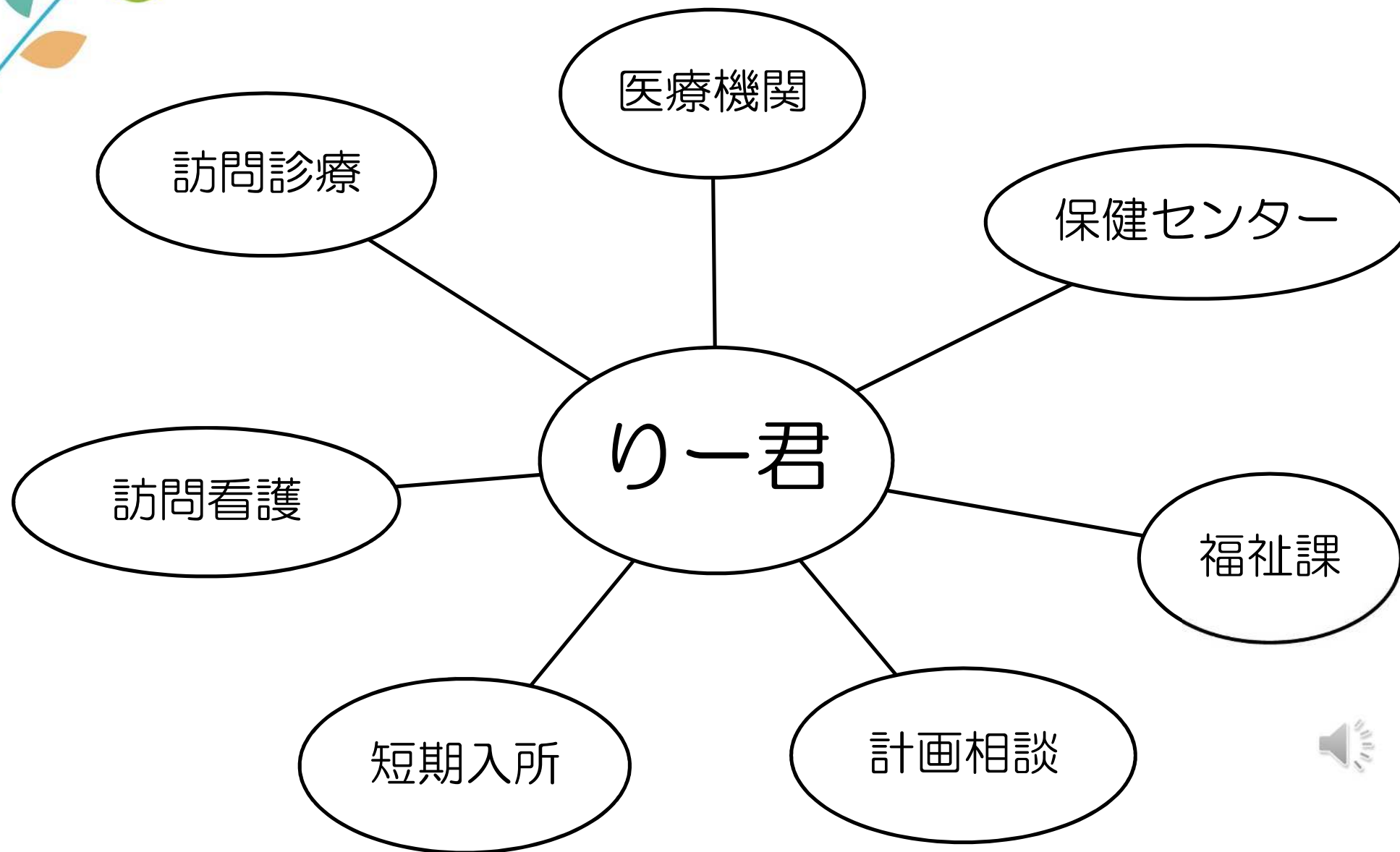
一日・一週間の流れの確認

母の出産前後の過ごし方の確認



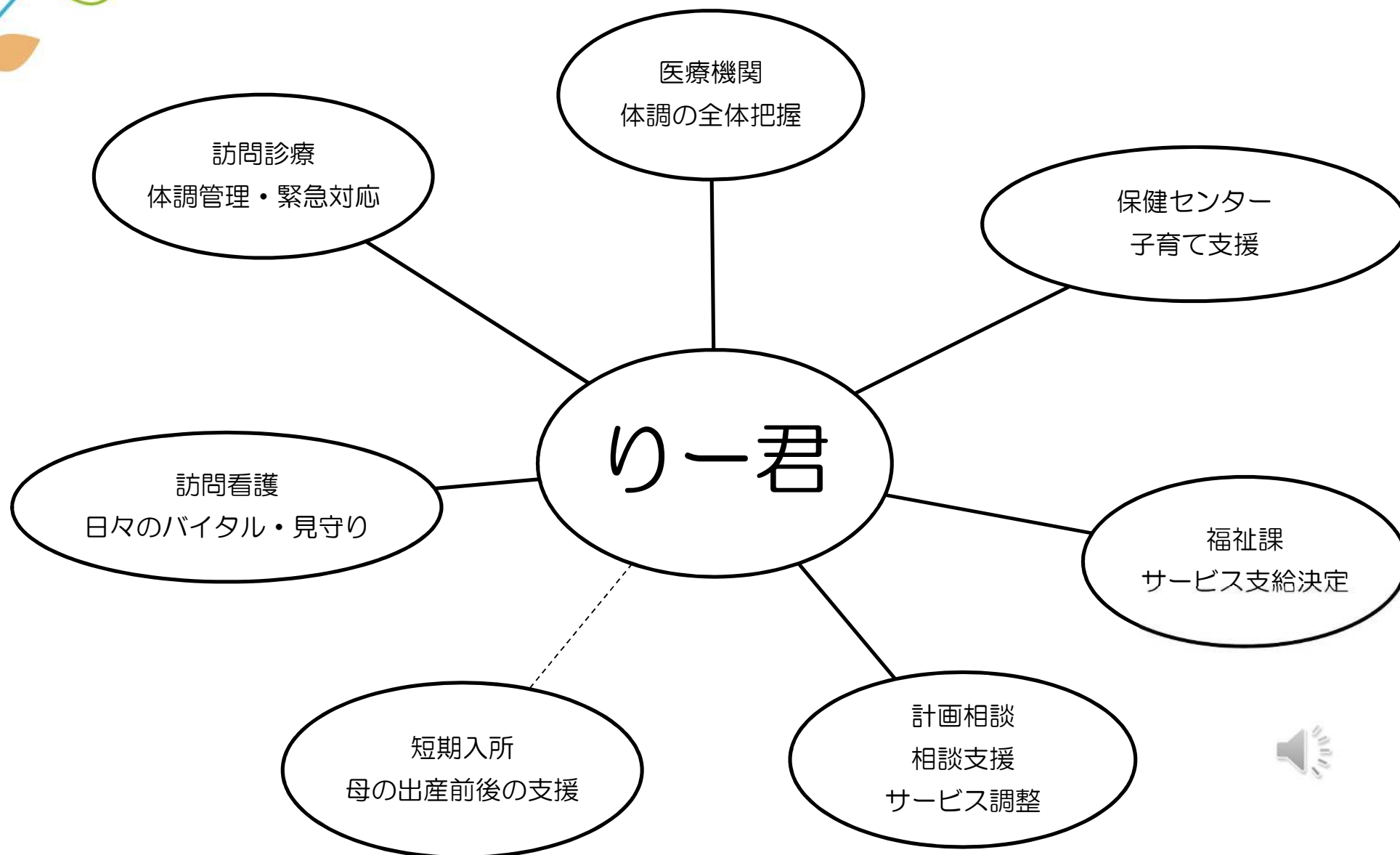


# チームりー君 バージョン2





# チームりー君のそれぞれの役割分担





## サービス等利用計画について

### 保護者の希望

- 体調を整えて自宅での生活を続けたい。
- 健康管理を一緒にして欲しい。
- 自宅での入浴を手伝って欲しい。
- 自宅以外の場所で緊急時の預け先を見つけない。
- 安心して出産したい。
- 好きな遊びや好きそうな遊びを見つけて経験させたい。
- 遊びに行ける場所が欲しい。

### りー君は…

- 好きな遊びをたくさん見つけて、遊びたい。





# サービス等利用計画について

## 総合的な援助の方針

- 医療機関との連携を図りながら、ご本人やご家族の体調に留意し、大きく体調を崩すことなく自宅で過ごすことができるように環境を整える。
- 定期的な訪問の中で母の気持ちの傾聴や必要なサービスの情報提供を行い、担当者会議を実施しながら必要なサービスの検討や具体的な利用に向けた話し合いを行い、安心して在宅生活を送ることができるように支援を行う。

## 利用を検討したサービス

- 短期入所（月31日）…母の出産前後の利用を視野に入れて







## いよいよ退院です

当初は自分から動くことはあまりなかったりー君ですが・・・

病院のベッドの上では狭いながらも活発に動く  
ベッドの上からおもちゃを投げるおちゃめな一面も…  
ときどきちょっと叱られて…

2回目の退院前カンファレンスをしてから約8か月  
2歳8か月の時に家族の待つ我が家に退院しました！

ドキドキの在宅生活がスタートしました。





## 退院後1カ月の担当者会議

- 出席者

お母さん・保健師・福祉課・訪問看護・訪問リハビリ・計画相談

- 話し合いの内容

在宅生活の状況確認（りー君とご家族皆さん）

お母さんの体調のこと

出産時の対応について





## 退院後のりー君の生活とご家族のお気持ち

- ひとりでしっかりとお座りができるようになった
- つかまり立ちもできるようになった
- キーボードなど音の鳴るおもちゃが好き
- お風呂が大好き
- 双子のお兄ちゃんとおもちゃの取りっこをする場面も…
- 退院してりー君の世界が広がった

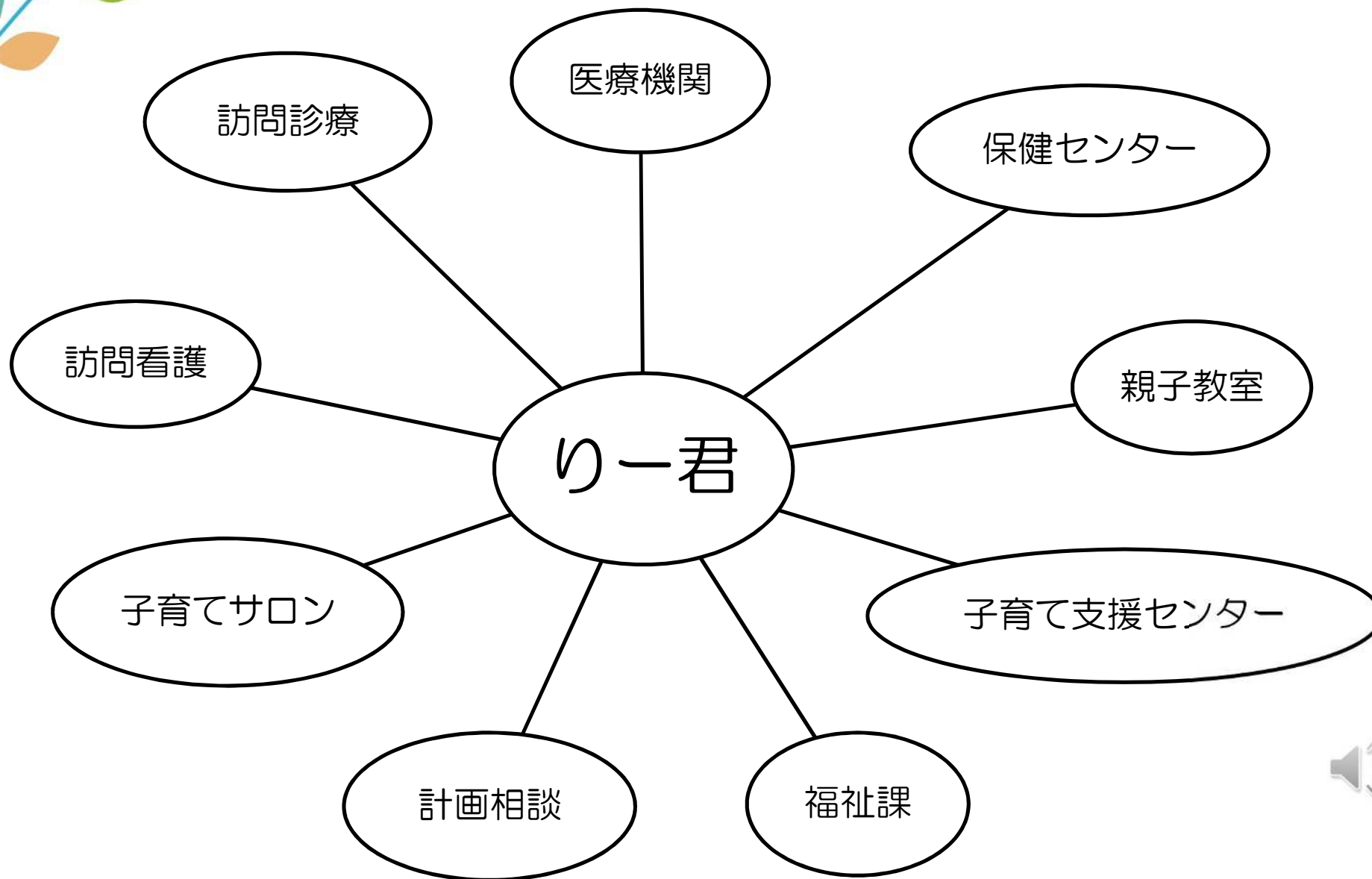
その一方で…

- 吸引頻度は変わらず頻回
- 注入中の嘔吐
- 夜間の人工呼吸器装着
- 肺炎のため入退院を繰り返す



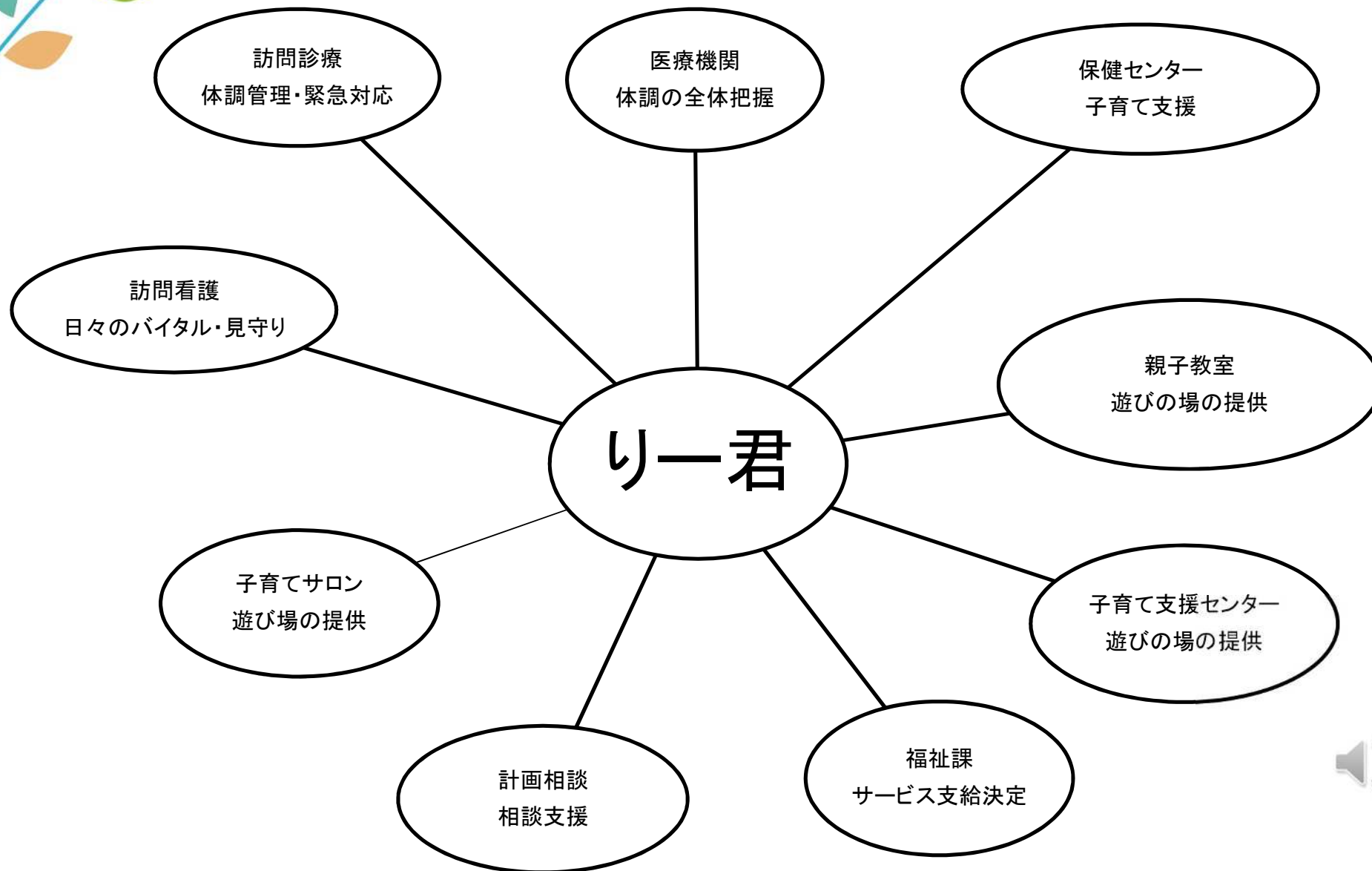


# チームりー君 バージョン3





# チームりー君のそれぞれの役割分担





## 退院後に利用したサービス

退院当初はとにかく医療で生活、安心を支える

- 訪問看護  
毎日・・・バイタルチェック、吸引や注入、入浴、見守り  
お母さんの不安の軽減
- 訪問リハビリ・・・自宅での座位姿勢や歩行訓練
- 相談支援・・・定期訪問の中で不安の軽減とサービスなどの情報提供と調整

サービスではないけど・・・

親子教室や子育て支援センター  
育児サロン





# 子育てサロン ぴかぴかの様子







# 子育てサロン ぴかぴか



毎日、お子さんとどんなふうに過ごしていますか？

日々、子育てをしていると悩んだり、大変だ～、どうしたらいいんだろう、何して遊ぼう、どこに行こう・・・と考えてしまうこともあるかもしれません。それに子どもたちは、日々様子も機嫌も違うし、色々なことがちょっと心配になってしまうこともあると思います。

子育てサロンぴかぴかでは、おもちゃ遊びなどを通して、お母さんたちの日々の子育てのちょっとした相談ごと、悩みごと、困りごと、遊び方、関わり方など一緒に考えていきます。ご希望があれば個別での相談もお受けします。

サロンの最後には手遊びやペープサートも用意しています。子どもたちは楽しく遊んで、お母さんたちは楽しくおしゃべりをして・・・そんな時間を私たちと一緒に過ごしてみませんか？お待ちしております。



☆開催日時☆

月2回木曜日10：00～11：45 ※日程はTwitterでもお知らせしています。

開催日程につきましてはお問い合わせください。

☆開催場所☆

西部・比企地域支援センター 東松山市松葉町2-17-43

☆内容☆

10：00～11：30 おもちゃ遊び

◆色々な子どもたちが遊べるように工夫します。

11：30～11：45 手遊び・ペープサート・さよなら

☆完全予約制 3組の親子（ご予約はお電話での受付になります。）

見学も受付しています。



※子育て相談はいつでもお受けします。（予約制）

子育て中の疑問、悩み、困りごとや地域でのサービスのこと、医療のこと、集団生活のことなどお母さんのお話を聞きながら、一緒に考えます。

予約制になっております。日時についてはお母さんと相談しながら決めます。

ご希望があれば訪問でもお受けします。お気軽にお声かけください。



☆対象☆

比企地域内に在住の子育てに不安のある親子 ☆参加費無料!!

☆申し込み方法・問い合わせ先☆

西部・比企地域支援センター 0493 (81) 5310

時間 9：00～17：00（月～金）担当：秋山







## ここまでの相談支援の役割

- ご家族の気持ちの傾聴。
- 退院準備から退院後の生活についても一緒に考えることができることを伝え、少しでも安心感を持ってもらえるように。
- 退院後の生活を一緒にシミュレーションし、退院後の生活を少しずつ具体的に。
- 関係機関をつなぐ、つながる・・・チームを作る





## 成長に伴って変化が…

- 友達がいるところの方がなんか楽しそうな気がする
- 支援センターや親子教室で好きな先生がいそう
- 昼間のケアはほぼなしに！  
おうちでは見せない一面が…

そこでお母さんの気持ちは

りー君って保育園に行けるのかな？行きたいって言っていい？  
みんなと同じような経験させてあげたい…

**「やっぱり保育園に行かせたい！」**





## さあ 保育園に行く準備を始めましょう

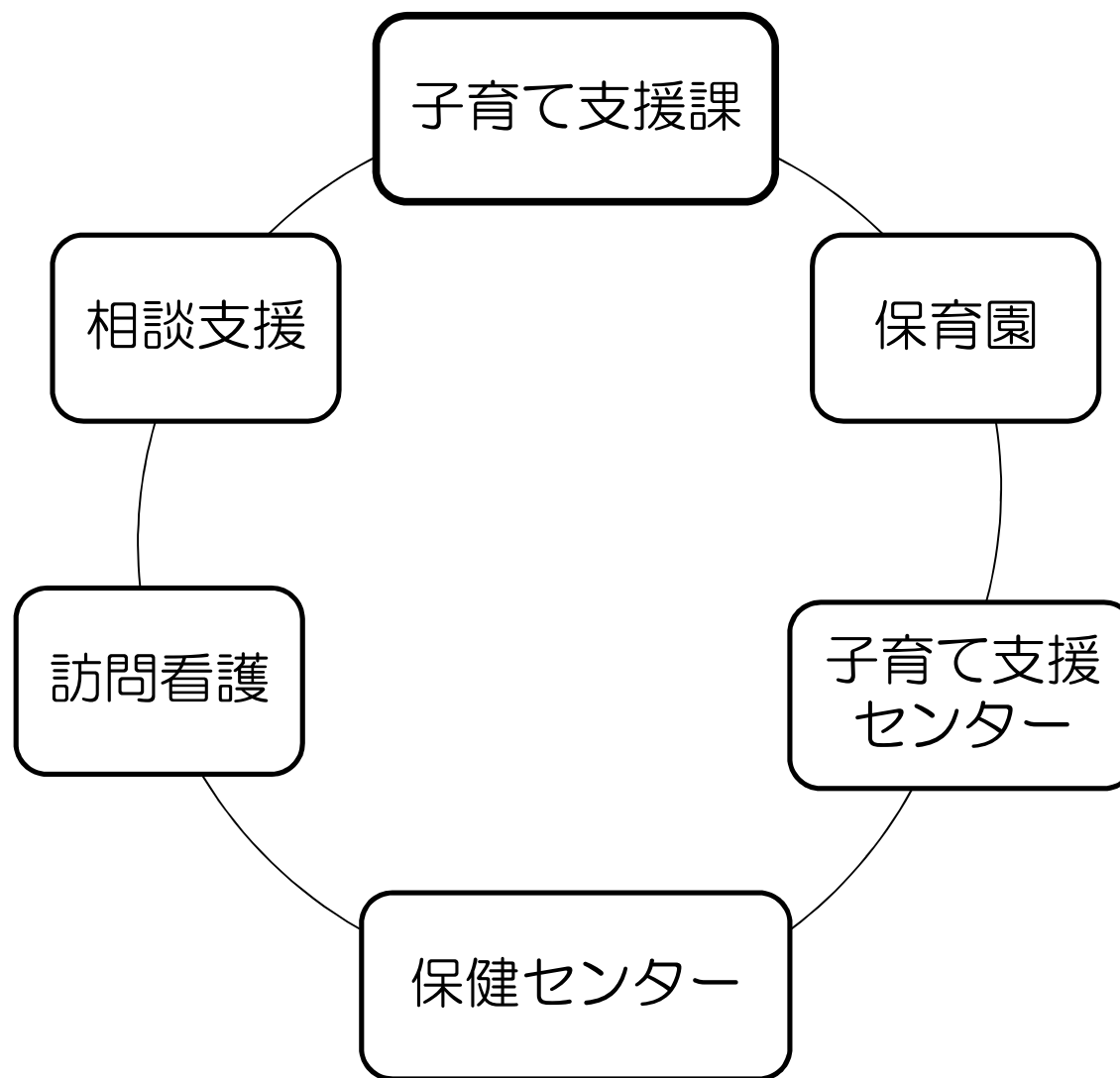
りー君 (3歳6ヶ月)

- 診断：気管・気管支軟化症 自閉症（新たに診断を受けた）
- 手帳：身体障害者手帳（1種1級）
- 医療状況
  - 気管切開・吸引
  - 経鼻経管栄養（ミルサー食を口から食べる練習中）
  - 酸素・人工呼吸器（体調不良時のみ）
- 体調を崩すことが減り、日中帯はほとんど吸引することがなくなった。
- 不安定ながらも一人で歩くことができるようになった。
- 好きな遊びが増えた。
- 先生のこと大好き
- お友達にも気になるようになってきた。
- 座っていることはちょっと苦手…





# 就園に向けた初めての関係者会議





## 就園に向けた初めての関係者会議

- 行政からの一言

「この会議はりー君がどうしたら保育園に入ることができるかを考える会議です」





# 入園をするための準備 (子育て支援課を中心に…)

- 関係機関との事前会議
- お母さんからの聞き取り
- りー君の様子を観察
- すでに医ケア児を受け入れている保育園への視察
- 医療機関とのやり取り（指示書など）
- 看護師の雇用
- 喀痰吸引研修の準備（看護師・保育士が受講）





## 2回目の関係者会議

- 準備保育として・・・
- 集団生活でのりー君の様子を見るための具体的な方法を検討  
⇒子育て支援センター 地域交流保育
- 食事については食形態と介助方法の確認をするための場を設けること  
⇒給食体験
- 緊急時の対応  
⇒訪問看護が対応
- 看護師の確保と喀痰吸引研修について





## さあ 保育園に行ってみよう

- 初日はお母さんと一緒に…
- 保育園では保育士さんだけではなく看護師さんも一緒に過ごす
- 水分も口から飲んだ後に不足分を注入
- 短い時間だけど保育園の中で元気に過ごす
- 帰る時間になっても帰りたがらないくらい保育園が好き
- 毎日の様子はお迎えの時の話と連絡ノートで…
- 関係機関との情報共有としてMCSを活用







## 相談支援としての視点

- ❁ 地域で生活することへの最初の不安を少しでも軽減すること
- ❁ 最初は医療中心の支援が安心感を生む
- ❁ 一緒に生活をすることで気持ちの変化もでてくる
- ❁ 少しの変化を一緒に共有し、家族の様子も気にする
- ❁ 関係機関との情報共有と応援団を増やす
- ❁ 関係機関とのつながりが地域のネットワークになる





とにかく家族が家族でいられる

その子がその子らしくいられる

そんな環境や時間や思いを作るお手伝いをする

地域がつながれば医療的ケアがあっても

大好きな家族や友達と一緒に過ごすことができる



ご清聴ありがとうございました。

